【令和３年度　第１回　全体研修会報告書】

◎日時：①令和３年９月 29 日(水)　14：00～16：00（2 時間）
　　②令和３年 10 月６日(水)　10：30～12：00（1.5 時間）

◎研修会報告

令和３年９月 29 日と 10 月６日に、令和３年度第１回全体研修会が開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、オンライン形式での開催となり、同内容での研修を２日間開催。２日目の開催は１日目の研修の録画配信形式で開催されました。

研修は、長崎市福祉部部長の山口伸一氏より、「第８期介護保険事業計画の今後について～加算や Q&A、ケアプラン様式の変更について保険者と考える～」とのテーマにてご講義を頂き、今年度４月より３年間で実施していく第８期介護保険事業計画の内容や、介護報酬改定の概要、利用者がコロナウイルスに感染した際や、濃厚接触者になった場合対応への留意点についてもわかりやすく説明をして下さりました。

また、令和３年３月 31 日に厚生労働省より出された、ケアプラン様式の変更についても説明があり、今後のケアプランの書き方等については、行政だけでなく、実際に作成を行うケアマネジャーの意見も取り入れながら、長崎市のルール作りができる様、介護支援専門員連絡協議会と協議していきたいとのお話を頂きました。

その後、長崎市高齢者すこやか支援課係長の武分和歌子氏より、「災害時支援に備えた「個別避難計画」について」とのテーマで、これまでの、災害時に備えた長崎市の取り組み状況や課題について説明を受け、今年度より、内閣府からのモデル事業で長崎市が実施する、「個別避難計画作成モデル事業」の概要説明と、モデル事業実施にあたってのケアマネジャーへの協力依頼がありました。

近年、全国各地において、地震や大雨、台風などによる自然災害が頻発しています。長崎市においても、いつ災害が発生するかわからない状況の中、私たちケアマネジャーが利用者を守る術として、今年度からのモデル事業への協力は必須であると感じています。

質疑応答では、ご利用者がコロナウイルスに感染、もしくは濃厚接触者になった事で、サービスが利用できなくなった際の対応が大変だったとの事例に対し、行政も、ケアマネジャーだけでは対応できないケースへの対応については、協力して一緒に対応していきたいとの心強い返答を頂きました。

現在、コロナ禍において、会員の皆様も非日常的な対応を強いられる状況も続いているかと思います。まだまだ大変な状況は続きますが、ご利用者が暮らしやすい環境を守っていく事ができる様、徹底した感染予防を行いつつ、行政や会員同士での連携を図りながら、今後も、明るく前向きに頑張っていきましょう。